



アフリカ大陸の国・チャドは、北緯7度から24度、東経13度から24度の間に位置し、マグレブ諸国と中央アフリカの間を結んでいます。チャドの国土面積は128万4000平方キロメートルで、スーダン、アルジェリア、コンゴ民主共和国、リビアに次いでアフリカで5番目に大きな国です。

チャドの国境は、北はリビア、東はスーダン、西はカメルーン、ニジェール、ナイジェリアに接しています。

1990年、チャドの政治制度は民主主義制度になり、大統領選挙が普通選挙で行われることになりました。1993年、国内の政治・社会・経済、全ての関係者が出席する形で国家主権会議が開催され、政治制度の詳細が規定されました。

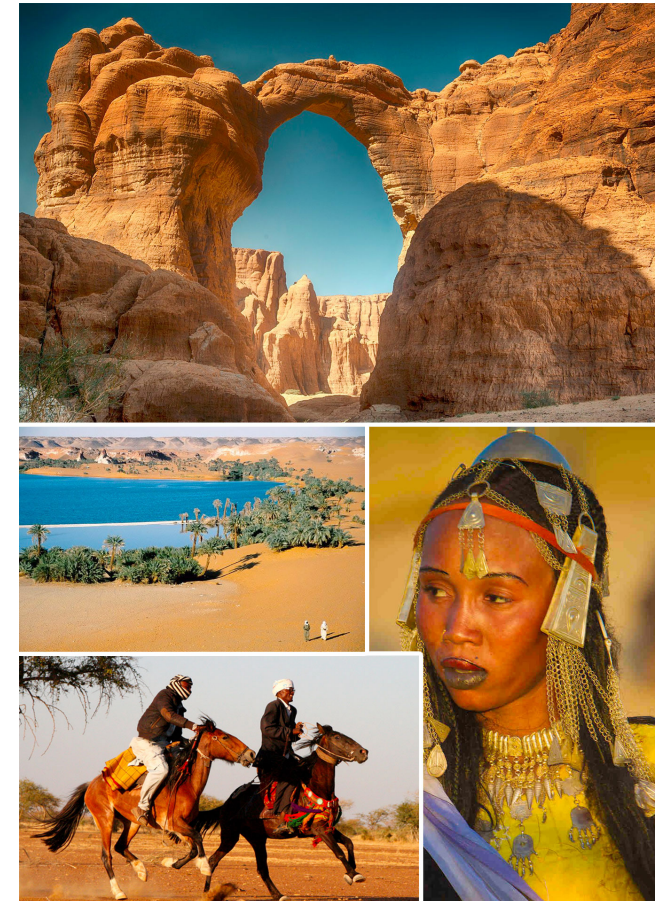
四半世紀を経た今、グローバル化の進展と地域の安全保障問題、さらには前例のない移民危機によって複雑化する情勢の中、チャドは新たな一步を踏み出しました。これまでの成果を大切にしながらも、改革すべき点には勇気を持って根本的な変革を進めています。

この国の変革と発展の新しいビジョンを掲げ、リードしているのが共和国大統領マハマト・イドリス・デビ・イトゥノ閣下です。



©Expo 2025

# チャド館



## チャド概要

- 首都: ンジャメナ
- 国土面積: 128万4000平方キロメートル
- 人口: 1,687万7,357人(2020年)
- 人口密度: 13人／平方キロメートル
- 宗教: イスラム教(約60%)、キリスト教(約30%)、その他(10%)
- 公用語: アラビア語及びフランス語
- 通貨: CFAフラン
- GDP(国内総生産): 3兆2千320億CFAフラン
- 一人当たりGDP: 1千米ドル
- 主要都市: サール、ムンドゥ、アベシェ



## 経済発展と新たな可能性

### 農業

チャドは天然資源が豊富で、主たる産業は農業と畜産です。農業部門は国の富の38%を占めています。

雌牛はGDPの17～18%をもたらしています。家畜総数は2000万頭以上、内、牛が700万頭、ラクダが300万頭、羊と山羊は900万頭です。

家畜だけで、石油を除くチャドの輸出の25%を占め、これは年間600万頭以上の牛の輸出に相当します。

チャドはまた、スーダンに次いで高級アラビアゴム世界第2位



の生産国で、その生産量は1万8千トン、これは世界の総輸出量の16%に相当します。

2017年、チャドの生産者は仲介業者や卸売業者を通じて米国、中国、ヨーロッパに輸出を行いました。

チャドでは特に養蜂が盛んで、蜂蜜の生産量は2022年に2トンから15.5トンに増加しました。この蜂蜜はグルマ地方全域で採取・生産されており、蜂が花からではなく杏から取る蜜は生のまま瓶詰に加工されます。

チャドは世界有数のごま生産国であり、白ごまと黒ごまはチャド南部と中部で栽培されています。その他、マンゴー各種、カシューナッツ、落花生、ナツメヤシなどの食品もチャドで広く栽培されていますが、包装・加工されたり輸出されることはありません。

チャドには拡大する天然製品市場があります。モリンガ、スピルリナ、シア、ハイビスカス、その他各種天然製品の小規模生産が行われています。チャドの生産者と中間業者はこれらの製品の新たな販路を模索しています。スピルリナは、ミネラルや



ビタミンが豊富に含まれ食品サプリメントとして使用され販売されている微細藻類で、チャドにもこの種のスピルリナがあります。チャド社会の一部の少人数の人々に手工業で生産・開発されています。

### スピルリナの効能

- コレステロール対策
- 糖尿病対策の補助
- 免疫力を効果的に高める

チャドは第一次産業の発展に向けた大きな可能性を秘めています。3,900万ヘクタールの耕作可能な土地があるにもかかわらず、実際に耕作されているのはわずか220万ヘクタールとなっており、これは利用可能な土地のわずか5.6%にすぎません。

